

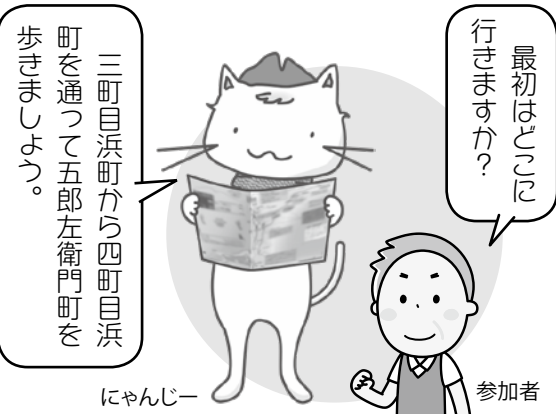
世界遺産登録に向けて

鉱山町あいかわ・下町散策⑦

相川下町のまち歩きコース(総括)

鉱山町相川の下町散策コースの見所のおさらいとして、相川の都市景観のマスコットキャラクターの「にゃんじー」が相川ふれあいガイドとして、まち歩きのポイントを紹介します。

まち歩きは、佐渡金銀山の価値や魅力を映像やイラストからわかりやすく知ることが出来るガイドダンス施設「きらりうむ佐渡」から出発します。



きらりうむ佐渡の周辺は、松榮家住宅(重要文化財)や、全国に佐渡おけさを広めた民謡歌手の村田文三生家跡、金刀比羅神社などを



さらに進むと、本格的な施釉陶器を作っていた黒沢金太郎窯跡、一町目裏町には、円山(まるとやま)東北の私塾であつた字古塾跡、江戸沢町には、相川の盆踊り風景を描いた「相川音頭絵馬」が伝わる塩竈神社があります。



きらりうむ佐渡の周辺は、今から約四百年前、相川金銀山の開発を契機に、現在の市街地の原形ができたようです。もともと海辺だった所を、寛永年間初期頃に、下町南部の海岸を大規模に埋め立てし、一町目から五町目までの町が誕生したんだよ。



世界遺産推進課 ☎63-5136